一誌一句（受贈誌12・1月号他より）

米田　透　抄出

県敗訴放り投げたいこの満月　（ＷＡ）　上地　安智

歯の神に供へてありし熟柿かな　（四万十）　亀井雉子男

神々の声低かりき椎の森　（景　象）　星野　昌彦

白秋や遭ひたき人は逢はぬひと　（藍　花）　谷中　隆子

湧水を豊かに汲みぬ美濃の秋　（ハンザキ）　橋本　石火

どの顔を剥げば螢になれますか　（山　河）　山本　敏倖

がばりとはもう起きられず菊も枯れ　（春　耕）　蟇目　良雨

一山に鳴ける画眉鳥風涼し　（　秀　）　染谷　秀雄

初あかね平和の道をいざ闊歩　（風の道）　大高　霧海

あめつちの万象秋といふべかり　（運　河）　谷口　智行